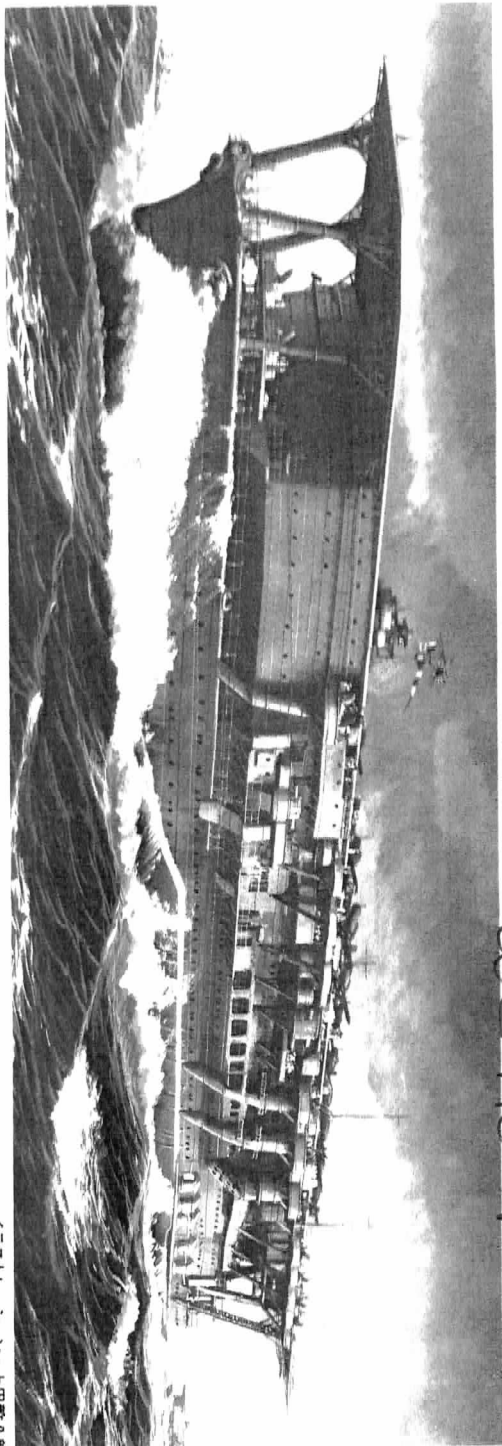


HAGA加賀

ウォーターラインシリーズNO.81
航空母艦かが(改装後)
JAPAN AIRCRAFT CARRIER



KIT NO. W.L. A081



イラストレーション・上田 敬人 師

WATER LINE SERIES

〈航空母艦加賀について〉

1921年大正10年11月13日、日本は最初の空母鳳翔を運水させた。鳳翔は空母として設計された艦としては世界最初の就役艦でイギリスの空母ハーミスの就役より9ヶ月早く就役しました。その後ワシントン軍縮条約により、空母保有総トン数は81,000トンに制限されました。これにより翔鶴型空母2隻は建造中止となり、代って巡洋戦艦赤城、天城の2隻が27,000トンの空母として建造されることになりました。しかし1923年大正12年の関東大震災により、天城が機庫工場の船台上で船体を破損したので、代りに鹿島処分される予定の戦艦加賀が空母として建造されることになり、こうして1923年大正12年11月9日、赤城、加賀の2隻は航空母艦として建造が開始されました。加賀は1928年昭和3年横須賀工廠で完成、赤城とともにワシントン条約に基づき、日本海軍最初の大型空母でした。飛行甲板は日本海軍独特の3段式甲板(最上段が着艦用、中段が小型機発着艦用、下段が大型機発着艦用)を持ち艦尾への短路誘導、強力な兵装配置など、極めてユニークな機装を施しました。しかし当時同様の経過をたどって建造された米海軍空母サラトガ、レキシントン、(ともに巡洋戦艦より改造)と対比すると、大型のアイランド(島型)構造を採用した米空母に一步も二歩も劣っていたのが実状でした。赤城と同じく未成艦を空母に変更したもので基本的には、赤城と

〈加賀の大改装〉

加賀の近代化大改装工事は、支鶴事件の直後の1934年昭和9年初頭に佐世保工廠で着手され、翌1935年昭和10年6月に完成し、約一ヶ年を費した特急工事でした。加賀の大改装は、戦艦長門型や比較に村松すべき大規模で根本的なもので、諸欠点は勿論、発達した新鋭艦載機に對しても充分な施設とすることなどが目的でした。なかでも最も強く要望されたのが速力の増大でした。加賀の改装の主要点は次の通りです。①飛行甲板の単一化と延長、②搭載機数の増加、③煙路の改良、④速力の増大、⑤対空兵装の強化、⑥飛行甲板上に艦橋構造物を設ける、以上のような大改装により、空母加賀は従来の艦姿とどめないほどに変貌し、性能的にも大幅に向上されました。改装内容は次の通りです。速力向上のため艦尾が約8メートル延長することによってより抵抗の少ない艦型にし、飛行甲板は、前後にできる限り延長され171.20メートルから、248.58メートルになり甲板面積は、全通一段甲板として飛躍的に増大しました。対空強化の為従来の12センチ連装砲を12.7センチ連装砲に替えた数射にも6基から8基と強化し、連装位置も高くすることで射界を広くしています。25ミリ連装機銃は、模型では14基装備していますが、11基装備していたともいわれていますが、その位置と装備数に関しては明らかではありません。格納庫の増大で、搭載機数も60機から一挙に90機となり、攻撃力も拡大しました。速力もタービンの半数を全て新式の大出力のものに換装し缶室、機械室区画は全く新しいものとして、大出力の推進プラントを収容しました。大改装によって42,500トンと排水量の増大にもかかわらず速力を27.5ノットから28.34ノットと向上させるこ

月子艦となり、佐世保工廠で大改装。1938年昭和13年10月広東攻略作戦に参加。12月より第2次改装を受け、改装後太平洋戦争を迎えました。真珠湾攻撃には、旗艦赤城とともに第1航空戦隊を編成し、空襲部隊の主力として活躍しました。真珠湾攻撃では、大戦果を上げましたが、未帰還機29機中その半数に近い15機が加賀艦載機でした。以後赤城とともに、ラバウル攻略作戦、ポートブライオン空襲、蘭印攻略作戦に参加しましたが、昭和17年2月9日バライオ泊地へ入港の際暗礁にぶつかり、前部に損傷したため印度洋作戦には参加せず、内地に帰還して修理を行い、運命のミッドウェー海戦に出撃しました。第1航空戦隊加賀、赤城は第2航空戦隊の飛龍、蒼龍を加え、南雲中将指揮下にミッドウェー攻略作戦が開始されました。5月27日呉を出撃した南雲機動部隊は6月4日ミッドウェー島をめざして攻撃機を派遣させました。しかしこの時すでにミッドウェー付近には、米機動部隊が待ち伏せており、この攻撃を受けました。米空母エンタープライズの急降下爆撃機により、爆弾4発を受け、火災を起し火薬庫に引火大爆発を起し、船体中央より真二つとなって(1942年昭和17年6月5日)沈没しました。

〈ワシントン軍縮条約について〉

大正10年11月、ワシントンで開催された軍備縮小会議で日英米仏伊の5大海軍国は建艦制限を討議し、締結された条約は翌11年8月より発効されました。内容は、主力艦の保有・建造に関する制限が大きくなテーマとなっており、誕生間もない空母についても規定されました。この条約により日英米仏伊の主力艦トン数は、3,500、5,000、10,000、10,000、10,000と規定され、この結果、建造した計画の主力艦

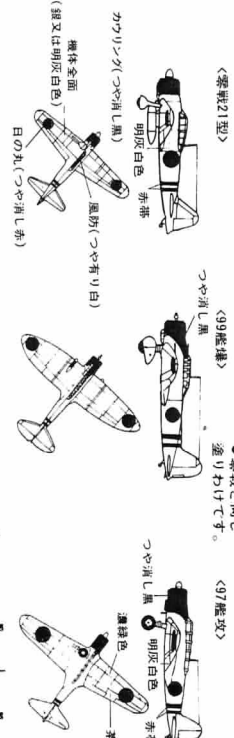
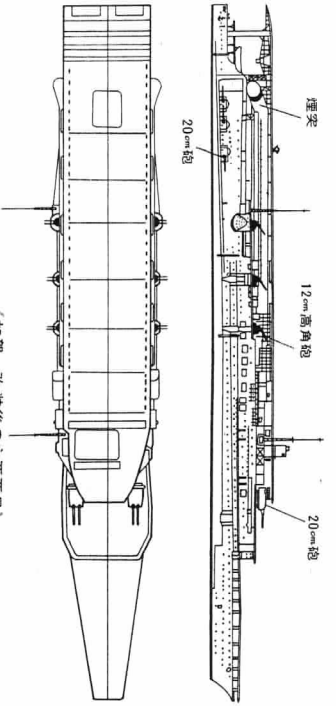
W.L. A081

【加賀の戦歴】
 加賀の初陣は、改装前の1932年昭和7年鳳翔と参
 加した第1次上海事変でした。1933年昭和8年10
 月、受けるものがありました。それらの条約の制限に
 該当する主力艦に、巡洋戦艦赤城や戦艦加賀があ
 ったわけです。

艦路の誘導方式でした。本艦では煙突を両舷に分
 けて飛行甲板にそって艦尾まで導いていました。
 この煙突導設法は、日本最初の大型空母として赤
 城と比較研究の為採用されたものでしたが、実際
 には完全な失敗でありました。排水量は26,900ト
 ンと同じですが、全長は赤城の方が20メートル余
 も長く速力も32.5ノットと加賀の27.5ノットを上
 まわっていました。これらの重大な欠点があつた
 にもかかわらず、本艦と赤城はその独特な三段飛
 行甲板とともに、国民に親しまれ、また当時最重
 要艦であり、米国のレキシントン型とともに、世
 界で最も有名な空母でした。しかし前述の空母と
 しての重大な諸欠点と、急激な航空機の発達によ
 り、赤城に先んじて完成後わずか数年後に大改装
 されることになりました。

〈加賀・改装前の主要要目〉

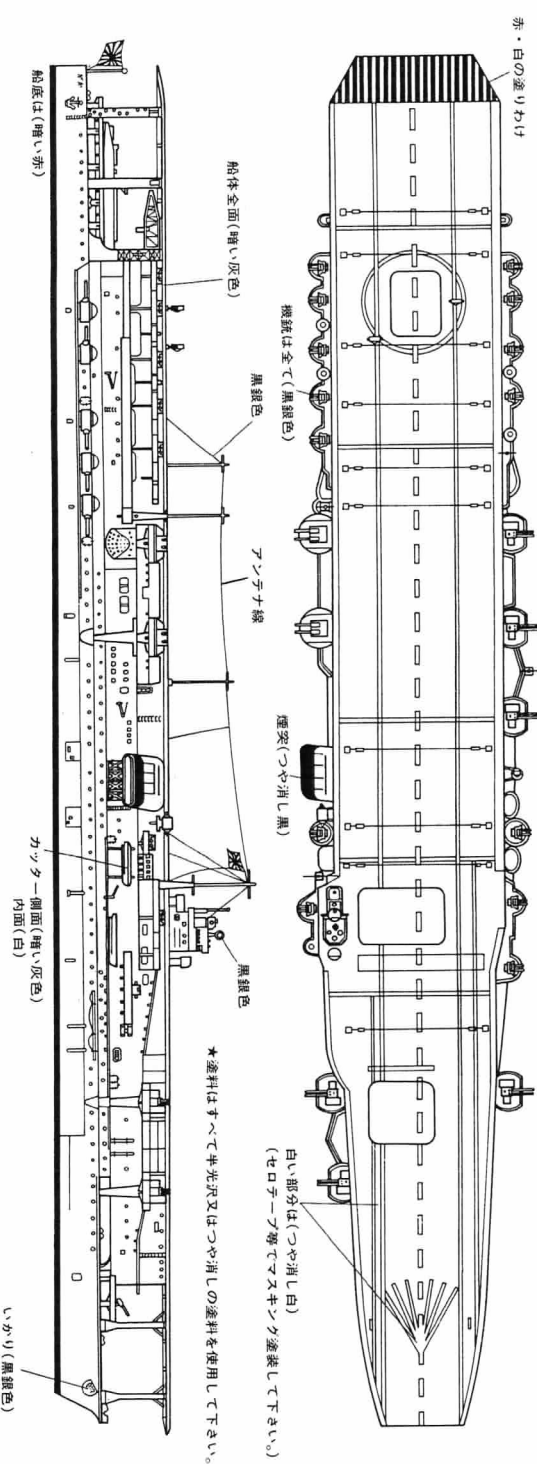
基準排水量	26,900トン
水線長	230.00m
吃水	29.60m
機関出力	7,930馬力
速力	27.5ノット
備用出力	91,000HP
高角砲	20cm II × 2
搭載機数	120機
飛行甲板	長さ171.2m 幅30.5m



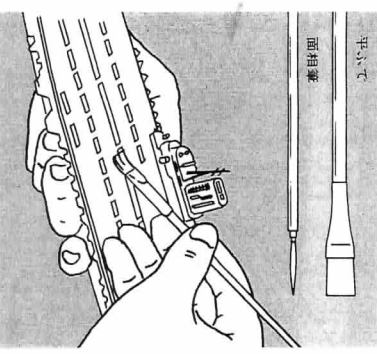
PAINTING

〈加賀・改装後の主要要目〉

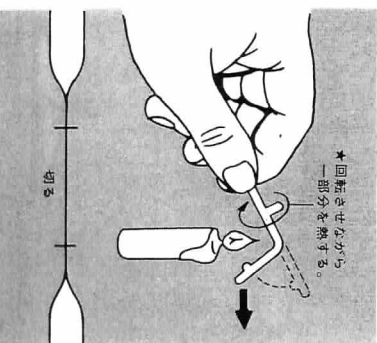
基準排水量	38,200トン
水線長	240.30m
吃水	32.50m
機関出力	127,400HP
速力	28.3ノット
搭載機数	200機
飛行甲板	長さ248.58m



〈塗装について〉
 同じ色に仕上がる部品はできるだけ
 組立てて、部品の合せ目や、はみだ
 した接着剤を修正してから塗装す
 るのがコツです。
 塗料はプラスチック用の半光沢又は
 つや消しの塗料を使用します。ムラ
 なくきれいに塗るにはスプレー式塗
 料を使うのがよい方法です。塗装す
 る場合一度に仕上げず、うすく全
 体を塗り乾いたらまたうすく塗る方
 法がコツです。
 甲板や船体側面のように広い部分
 は平筆を使い、エントツや飛行機など
 は細筆を使います。



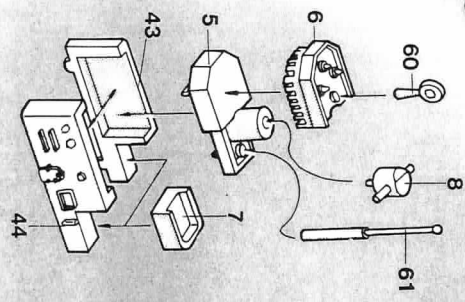
〈アンテナ線の作り方〉
 キットをより引きだしたせる為アン
 テナ線をほりましょう。必ずキット
 を塗装してからおこないます。
 まずアンテナ(部品が付いた枝)
 を適当な長さに切り、ローソクの炎
 で右図のようにやわらかくなるまで
 熱します。十分熱したところでき
 ソクから離し、すばやく引っぱると
 細い糸ができます。
 上の2面図を参考にして接着部分
 より糸を少し長めに切り、アンテナ
 先に接着剤をつけてアンテナに止
 めます。のこりは接着剤が乾いて
 切るのこつです。



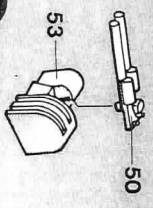
★ランナー(種)から部品を切りはなす場合、必ずニッパーかナイフ等を使って、ていねいに切りはなして下さい。★接着剤は組立てる部品の両方に少しづつ付けて接着して下さい。

部品を取出した受袋は、幼児が触ったりしないように取りすて下さい。

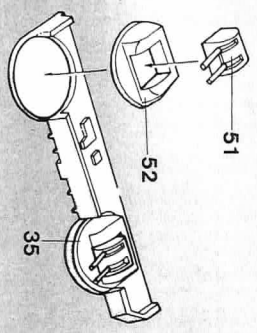
1 艦橋のくみたて



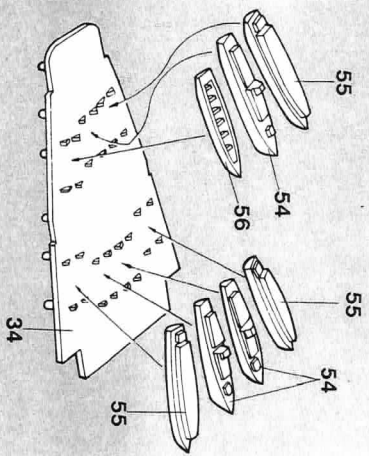
2 高角砲のくみたて <6組作ります>



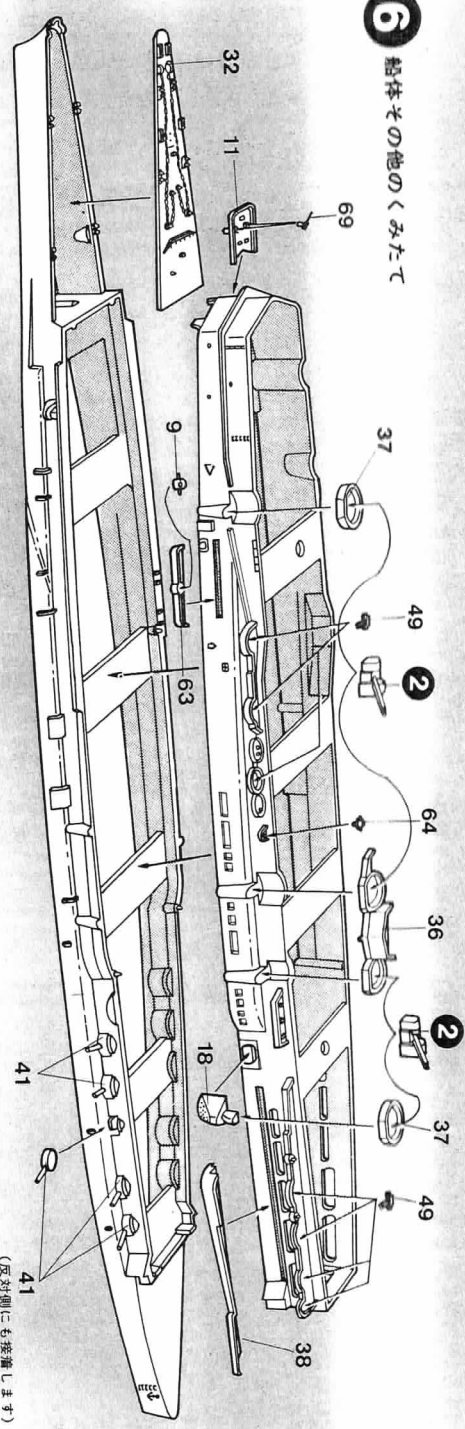
4 高角砲のくみたて <シエルター付>



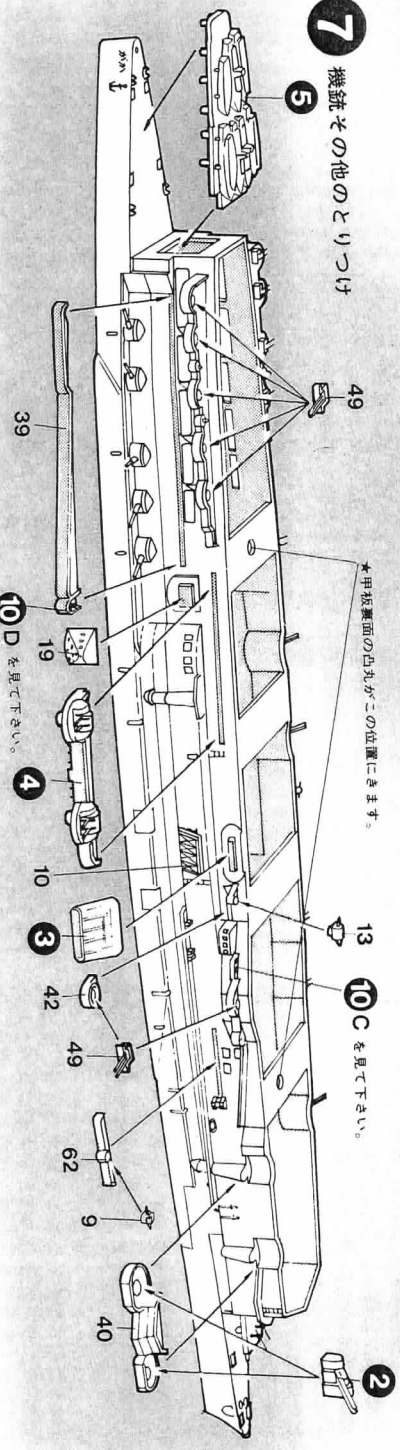
5 ポートのとりつけ



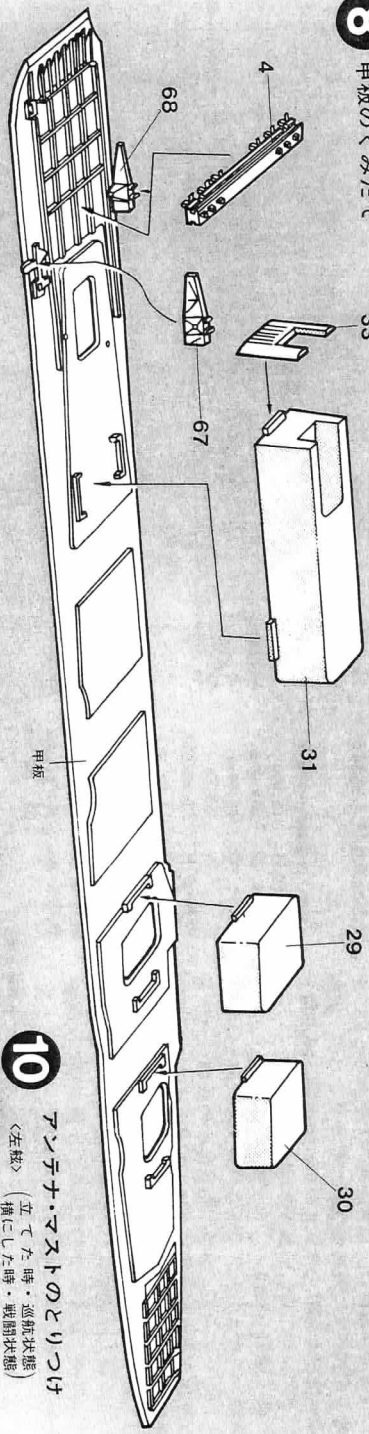
6 船体その他のくみたて



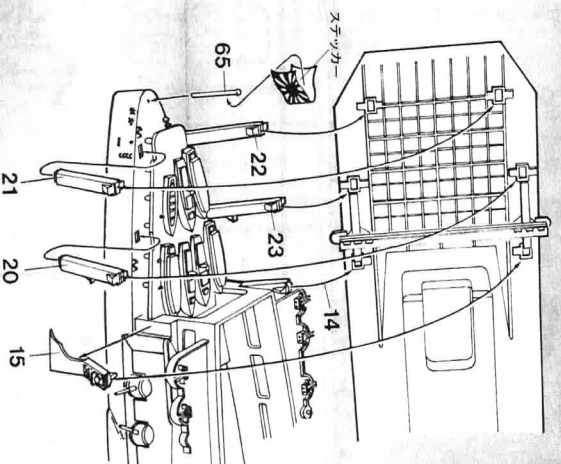
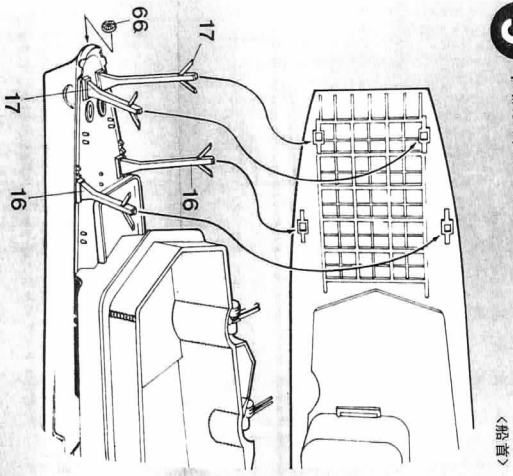
7 機銃その他のとりつけ



8 甲板のくみたて

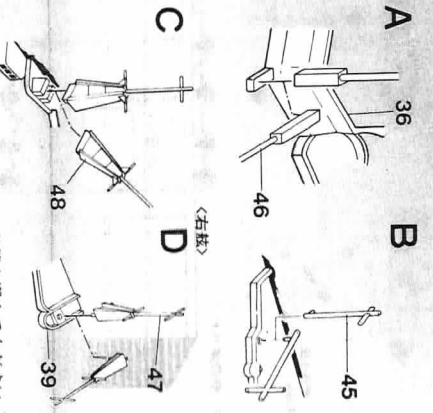


9 甲板支柱のとりつけ



10 アンテナ・マストのとりつけ

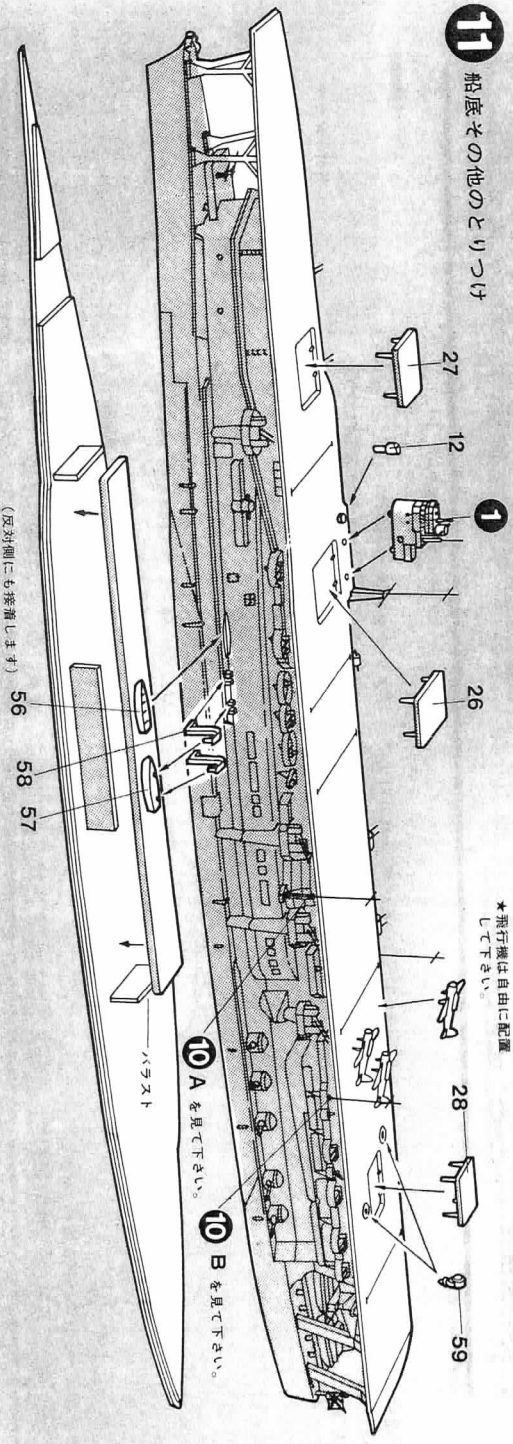
＜左舷＞ 立った時・巡航状態
 横にした時・戦闘状態



(どちらかの状態を選んでください)
 戦闘状態でも、このマストは斜めになります。

★中間位置にする場合はエレベーターをばめこみます。
 (エレベーター取り付け参考図)

11 船底その他のとりつけ



★飛行機は自由に配置して下さい。

(反対側にも接着します)